



〔背景・目的〕

研究の概要（2年目）

- 青森県健康状況については、長年にわたり厳しい状況が続いているが、その要因として、生活習慣の課題や受療行動の課題など、健康行動の問題が指摘されている。この点について、我々は保健医療福祉サービスについてヘルスコミュニケーション（HC）の観点から検討する必要があると考え、本研究を企画した。
- HCは医療・介護分野では典型的には現場の対話、保健分野では対集団の働きかけなど極めて広い領域で、かつ多様なチャンネルで行われるが、本研究はそれらのうち、基本的で代表的と考えられるHCを対象とした。
- 今回、HCの実態把握と、効果的なHCに資する社会実装、その検証を目指した。

〔研究内容〕

- 本研究は2年目となり、1年目の保健・医療・福祉の3分野で8研究課題の実態やニーズの調査を受け、更なる補完的な調査や、社会実装となる成果物としての動画作成・配信、アプリ等のツール開発、研修会等のプログラム開発に向けて事業を進めてきた。